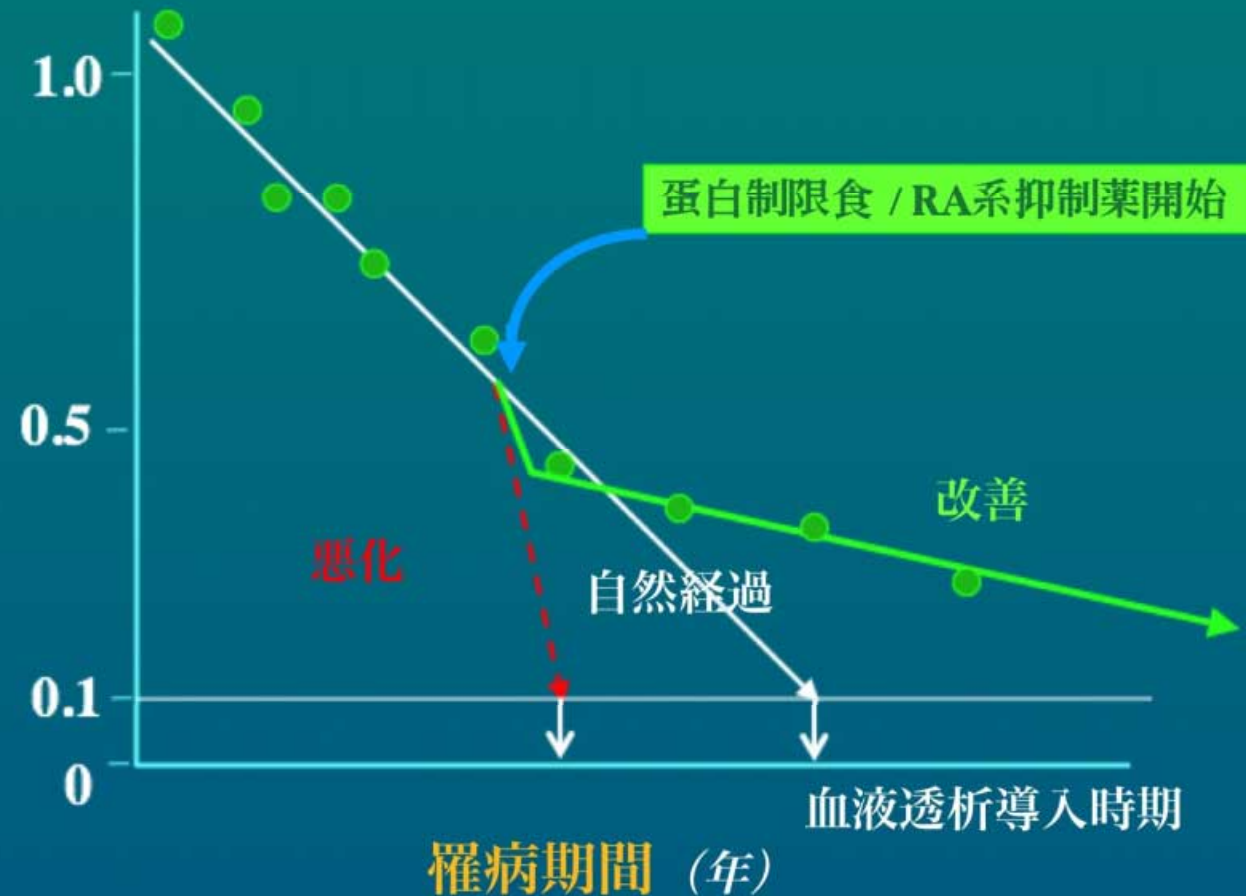


血清クレアチニン逆数プロットの意義

1/血清クレアチニン
= $GFR / U_{cr} \times V$ (一定)
(\propto 糸球体濾過量)
およそ
この値を100倍すれば
糸球体濾過量とみなせる

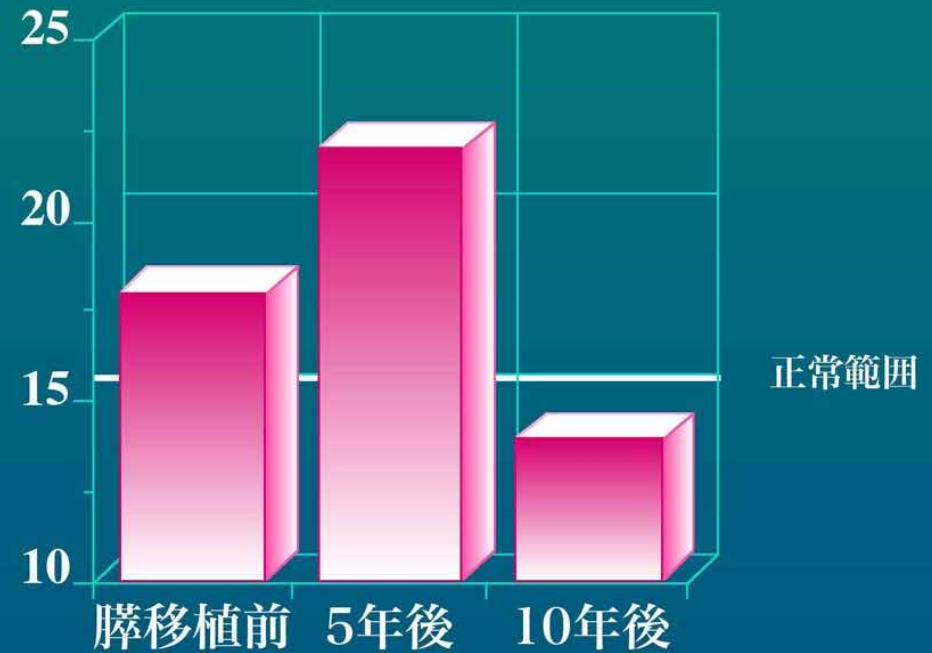


糖尿病性腎症病変が膵移植後 5年では不十分だが10年では正常化する

糸球体基底膜肥厚
(nm)



メサンギウム基質体積
(%糸球体)



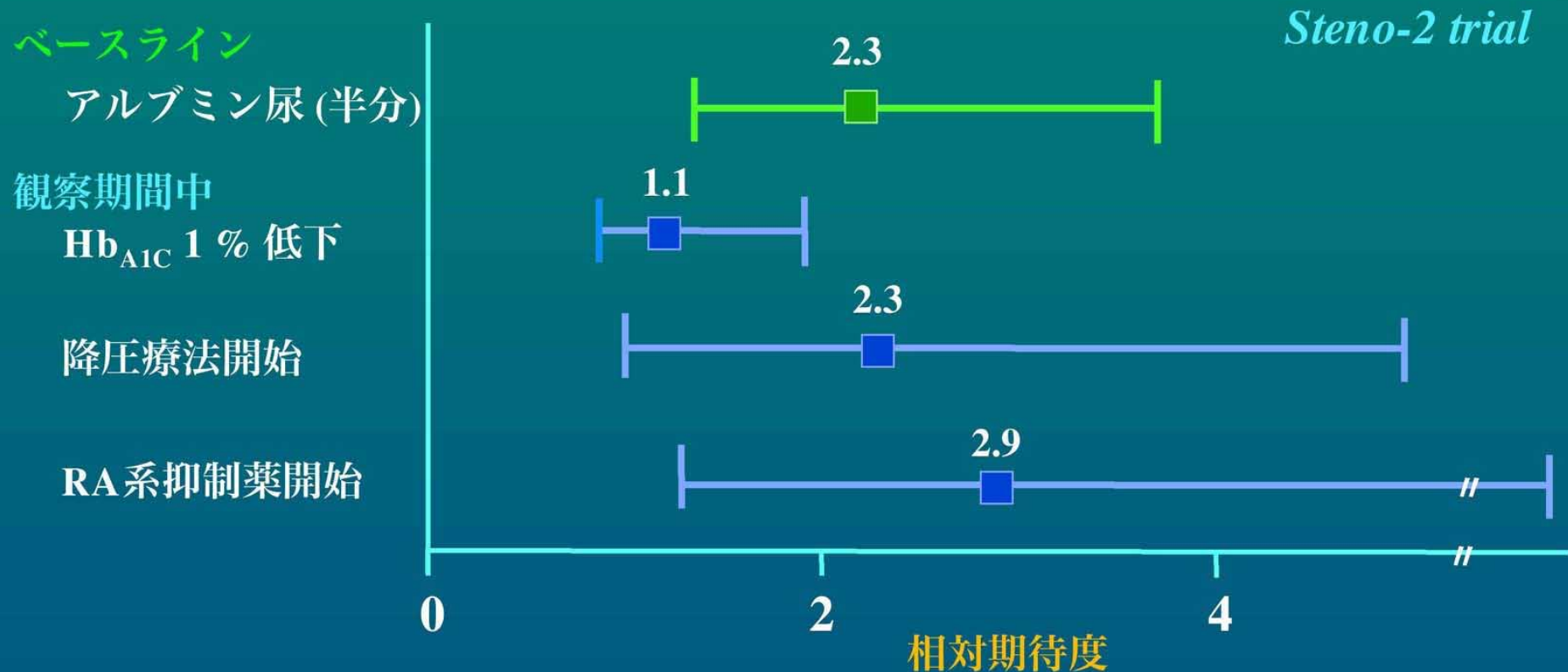
8例の IDDM 腎症、アルブミン尿 (mg/day) 100, 30, 20 と減少

Fioretto P, et al: Reversal of lesions of diabetic nephropathy after pancreas transplantation. N Engl J Med 339:69-75, 1998;
Remodeling of renal interstitial and tubular lesions in pancreas transplant recipients. Kidney Int 69:907-912, 2006

腎不全撲滅に向けた我々の取り組み

- 腎不全寛解へのご招待
 - ▶ 病診連携研究会
- 患者さんと御家族のための腎臓病セミナー
 - ▶ 市民公開講座（名古屋市後援）
- 腎炎・腎不全教室
 - ▶ 教育入院システム
- 腎臓病グループ指導
 - ▶ 外来教育システム（地域連携）
- レミッションクリニック
 - ▶ 腎臓専門（特殊）外来

微量アルブミン尿消失の予測因子



早期腎症を呈するNIDDM (n=151) を7.8年間 follow-up, 46例 (30%) でアルブミン尿正常化. Gaede P, et al: Remission to normoalbuminuria during multifactorial treatment preserves kidney function in patients with type 2 diabetes and microalbuminuria. Nephrol Dial Transplant 19:2784-2788, 2004

腎不全マップとACE阻害薬使用量の地域差

末期腎不全発症率

ACE阻害薬消費量

- 上位3地域
- 中間
- 下位3地域



Usami T, et al: Maps of end-stage renal disease and amounts of angiotensin-converting enzyme inhibitors prescribed in Japan. *Kidney Int* 64:1445-1449, 2003

Remission Clinic

= 腎不全寛解を目指したレシピール =

- 腎臓病食 (減塩、低蛋白)、禁煙を基礎にする
Life style modification
- 降圧薬療法
 - ▶ ACE阻害薬 (腎以外の排泄経路を有する薬剤)
 - 少量より開始、耐える最大用量まで1カ月毎に漸増
 - ▶ 少量の利尿薬を併用
 - 腎機能障害があれば loop 利尿薬
 - ▶ ARB
 - 血清 K < 5.5 mEq/l なら少量から開始、最大用量まで漸増
 - ▶ Ca-拮抗薬の併用により積極的降圧
 - ▶ スタチン/クレメジン/抗アルドステロン製剤も考慮する
- 至適目標
 - ▶ 血圧 < 125/75 mmHg
 - ▶ 尿蛋白 < 0.5 g/day + 50 % 以上の減少
 - ▶ Hb_{A1C} < 6.5 %, LDL-Cholesterol < 100 mg/dl
 - ▶ Δ GFR < 2 ml/min/year

慢性腎臓病 (CKD)の新病期分類

- 二次予防から一次予防の時代へ -

	ステージ A	ステージ B	ステージ C			ステージ D
病 態	腎疾患に対する 過剰なリスク	腎症はあるが 機能は正常以上	腎機能障害			末期腎不全
推定GFR (ml/min/1.73m^2)	≥ 90		89-60	59-30	29-15	< 15
	構造的腎疾患		腎機能障害		特殊療法の必要性	
患者状態	糖尿病、高血圧、肥満、 心血管疾患、高齢、 腎疾患家族歴、 腎毒性薬剤服用	糖尿病性腎症、 慢性糸球体腎炎、 腎硬化症など	既知の 腎症が あり 軽度 腎機能 低下	腎症の有無 に拘わらず 腎機能が 中等度～高度低下	代替療法や腎移植 を必要とする 末期腎不全	
治療戦略	腎症の スクリーニングと リスク軽減療法	原疾患の診断と治療 進行抑制対策と 心血管リスク軽減	進行性の 評価と抑制対策 合併症の 評価と治療	透析 療法の 準備	透析療法/ 腎移植	

NKF K/DOQI clinical practice guidelines: Am J Kidney Dis 39 (2 suppl 1):S1-S266, 2002 を大幅に木村改変
 Kimura G: Predicted prevalence in Japan of chronic kidney disease (CKD). Clin Exp Nephrol 11:188-189, 2007



世界腎臓デー

WORLD KIDNEY DAY



COMBATING A PENDING CRISIS

国際腎臓学会 (International Society of Nephrology : ISN) と
国際腎臓財団 (International Federation of Kidney Foundations : IFKF)
共同して国際腎臓デーを制定

- 慢性腎臓病 (CKD) は、ありふれた (common)、怖い (harmful)、治療可能な (treatable) 疾患
- 慢性腎臓病 (CKD) の早期発見と予防が世界的に重要であることを、もっと深く認識してもらう必要

毎年、3月第2木曜日を世界腎臓デーと制定して、世界中で、CKD 啓発キャンペーン